消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	路面積雪時の坂道発進時に救急車が滑走した事案(救急出動)。
3. 体験した事例の中心的要素	路面積雪時の坂道停車に問題があった。
4. 体験した事例の原因・理由	倒れている傷病者に接近しようとして、道路状況の把握を安易にしてしまった。

【体験した事例の直接的原因について】

1.	体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 20 年 2 月 0 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	雲
3. 発生した活動現場	屋外:傷病者が積雪路上に倒れていた。
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか	交通事故
(起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動終了時 []
8. (7の活動中)	その他:傷病者を収容し発進しようと車輪止めを外したところ
どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの	初めて体験した。
程度の頻度で体験していますか。	

10. 事例体験者の属性(回答者は当事者A)

〇当事者 A	年齢[37]歳、 勤続年数[18]年、 現場経験年数[14] 年、 階級[消防士長]、
	同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
〇当事者B	年齢[34]歳、 勤続年数[14]年、 現場経験年数[12]年、 階級[消防士長]、
	同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
〇当事者C	年齢[37]歳、 勤続年数[13]年、 現場経験年数[2]年、 階級[消防士]、
	同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他	
(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	当事者Bに登坂できるか相談した	積雪路、坂道の状況
経過2	当事者 B	登坂できると判断、傷病者接近し停車	上記路上に停車
経過3	当事者 A	傷病者に接触	
経過4	当事者 B、C	救急車に車輪止めを設置	
経過5	当事者 A、B、C	傷病者応急処置後、車内収容	
経過6	当事者 B	救急車を発進させようとする	
経過7	当事者 C	車輪止めを外す	
経過8	当事者 B	積雪路面にタイヤがグリップしなく滑る	
経過9	当事者 B	上記状態から3mほど後方に滑り落ちる	
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

足元が躓いたり滑りやすか。	った。	はい
・足元の強度が不足していた。	,	いいえ

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	
・指示内容に誤り・偏りがあった。	
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

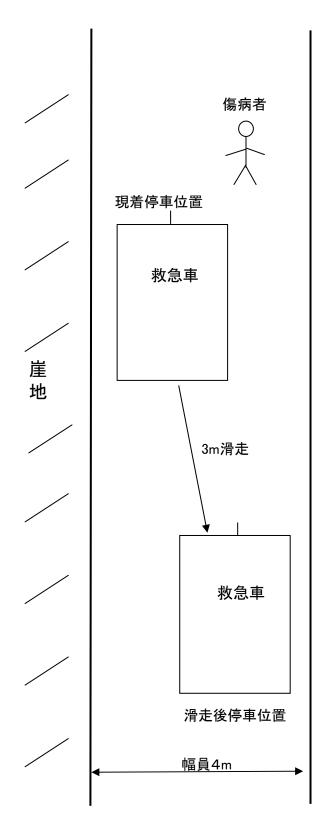
○その他

I. その他の理由があった。

はい:雪の降り始めから二ヶ月が過ぎ、積雪路面になれてきて判断に誤りがあった。

【事故発生後の取り組みについて】	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
○注意力欠如、焦り等の対策について	
○装備・資機材の対策について	
○活動環境の対策について	
〇指揮・情報伝達の対策について	

ヒヤリハット図



※ 積雪路面傾斜地